

## 「小論文」採点基準説明書

### 1. 出題のねらい

この問題は、課題文から江戸の長屋に暮らしていた人びとの暮らしぶりとそこでの挨拶が持っていた意味や役割を考え、それを手がかりとして自らが日頃行っている挨拶の意味や役割を考えさせるものである。この問題を通して、(1)普段から幅広い関心を持ち、課題文の記述と自らの知識を組み合わせながら、異なる時代や社会で暮らす人びとの行為の意味や役割を丁寧に推察してゆく力があるか、さらには、(2)自らの日常的な行為を新たな視点からふりかえることで疑問や問いを見出し、考察・探求しようとする姿勢や感性がみられるかを問いたい。

### 2. アドミッション・ポリシーとの対応

[対応するアドミッション・ポリシー]

1. 十分な基礎学力を持ち、自ら問題を発見し解決しようとする意欲のある人  
→課題文の内容と自らの日常経験を照らし合わせ、「挨拶」が持つ意味や役割について深く考察できる。
2. 基本的な倫理観と思いやりの心を持ち、利他的に考えることができる人  
→「挨拶」という対人行為に関して、それが他者との間でどのような意味を持ちうるかを自らと相手の立場に立ちながら検討できる。
3. 礼節を重んじながら自らの考えを他者に伝えるとともに、他者の多様な意見を理解しようとする協調性と柔軟性に富む人  
→自ら行っている日頃の挨拶がどのような意味や役割を持つと考えたかを、他者にわかりやすく伝えることができる。
4. 多様な文化、変容する社会の中での自らの使命を理解しようとする人  
→自らの生活環境とは大きく異なる江戸の長屋での生活を想像し、そこでの行為が持つ意味を考え、それをもとに自らの行為を真摯に省みることができる。